

## 4 企業価値を高める

**Q.** 自社の「企業価値」を高めるにはどうすればよいか？

**要旨** 企業価値を高めるには、会社が継続して健全な経営を行う必要があります。財務分析を活用することで健全な経営を行っているのかどうか確認することができます。

### 解説

#### 1. 一般的な企業価値の算定方法

企業価値には、大きく分けると3つの評価方法が存在します。

企業価値の3つの評価方法

一般的にはどれかをもって評価されずに、3つの評価方法の組み合わせにより評価されます。中小企業においては、②インカムアプローチ及び③マーケットアプローチの評価方法の算出には時間と労力がかかるため、①コストアプローチを基準として企業価値を算定することが多いでしょう。

#### 2. 中小企業の企業価値とは

①中小企業の付加価値は株価だけではない

中小企業の株式は、上場企業の株式のように市場で売買されたりせずに、同族間で承継することがほとんどであるため、上述したような市場での売買を前提とした株式価値を企業価値とする考え方は、中小企業

にはなじみません。中小企業における企業価値は、少し別の角度から考える必要があります。

②中小企業の企業価値は付加価値の獲得能力にある

中小企業の企業価値の一つの側面は、その付加価値の獲得能力にあります。

知的財産を活用し、他社が真似できない技術、自社の強みを活かしたサービスの提供など、会社の規模に関係なく、その技術やサービスが必要とされ、それに対する付加価値が認められることで、同業他社に比べ付加価値を獲得することができるようになります。これは、代替する会社がないことを意味し、中小企業の企業価値の向上は、社会的な存在価値を向上することが重要になっています。

|              |                           |
|--------------|---------------------------|
| ①コスト・アプローチ   | いわゆる時価純資産による価値            |
| ②インカム・アプローチ  | 将来のキャッシュフローを現在価値に割引計算したもの |
| ③マーケット・アプローチ | 上場企業などのように市場で売買される価値      |

# 収益性の向上・人材育成を通じて 企業価値を高める

## ＜ご提案のポイント＞

- ・企業価値を高めることは、一般的には株価が高くなることを意味します。
- ・企業価値を高めるには、自社の継続的な成長が必要です。
- ・中小企業においては、経営者の意識や能力の向上が企業価値に直結します。

## 1. 企業価値を考える

企業価値とは、率直に言えば会社の値段です。すなわち一般的には株価を意味します。

ただし会社に関係するのは、株主以外に金融機関等の債権者、従業員、取引先まで含めると多数の人が関係しており、それぞれの立場からその会社の価値は異なります。債権者にとっては多額の借入をしてくれて、滞りなく返済してくれる会社の価値が高いかもしれませんし、従業員にとっては多額の報酬を支払ってくれる会社の価値が高いかもしれません。

## 2. 倒産しない会社は価値がある

立場によって企業価値の基準は異なりますが、一つ重要なのは会社が倒産しないことです。会社が倒産してしまうと株主、金融機関、従業員にとっても、価値が無くなってしまいます。そのため企業価値の向上とは倒産リスクをより少なくすることを意味します。

すなわち自社が継続的に成長することで、必然的に企業価値は高くなっていきます。

## 3. 企業価値を向上させるには

### ①財務分析を活用してバランスの良い会社を目指す

収益性、安全性、効率性、生産性及び成長性の五つの指標を活用し、財務分析を経営に活かすことで、バランス良く企業価値を高めるための一つ的手段とすることができます。

特に倒産しない会社をつくるには、第一に収益性が高いことが望まれます。利益を上げなければ会社を維持することはできません。収益性は売上高、経費または投資に対して、どれだけの利益を獲得しているかを示します。この指標を改善することは、企業価値を向上させることになります。

### ②人材を育成する

会社は人だといわれます。企業価値を高めるためには、その構成員である従業員のパフォーマンスも向上させなければなりません。そして、特に中小企業においては、経営者の能力、資質も、企業価値を大きく左右します。自社の価値は経営者自身の価値だと言っても過言ではありません。経営者自身の意識と能力の向上が企業価値に直結することを認識してください。